

## 大会宣言

2024年元日の能登半島地震、そして同年9月の豪雨と相次ぐ災害に、全国の仲間の方と石川・北信越の強固な団結のもと、復興に取り組み、困難を乗り越えて、立山連峰を仰ぎみるここ富山の地で今日、この日を迎えることができました。

昨年、わが国のろうあ運動は二つの歴史的偉業を成し遂げました。

一つは、昨年6月に「手話施策推進法」が公布・施行されたことです。2010年から加盟団体とともに歩んできた手話言語法制定推進運動が実を結び、私たちが求めてきた手話言語の獲得、手話言語による教育等、手話言語の「5つの権利」を、初めて明確に法律に盛り込むことができました。

もう一つは、東京2025デフリンピックの成功です。全国の仲間が一体感となった全国キャラバン活動は、全国各地でデフスポーツとデフリンピックを啓発し、多くのきこえる人々の関心を高めることで、デフリンピックには33万人もの観客が訪れました。この活動により、手話言語も社会にさらに広く認知され、連盟の当事者団体としての社会的信用も確かなものとなりました。

私たちはこの成果をふまえて、意思疎通手段である「手話」から、言語としての「手話言語」へ転換することで、より専門性の高い通訳の確保等、手話言語に関する施策の推進を図っていきます。

また、障害者権利条約が国連で採択されてから20年目となる今年、私たちは「私たちのことを私たち抜きで決めないで」という原点に立ち返り、生涯のあらゆるステージにおいて、手話言語を選択する権利を求めていきます。

富山は、厳しい自然の中で、人の繋がりを大切にしてきた地です。この地において、誰一人取り残さない理念のもと、すべてのろう児・者が自らの言語で語り、誇りを持ってともに生きる未来を自らの手で切り拓き、きこえる仲間とともに真の共生社会を創っていくことをここに宣言します。

2026年6月7日  
第74回全国ろうあ者大会